

宇治情報

No.86

(体験集通算 436号)

宝 蔵

飛躍的成長のとき

生長の家宇治別格本山 理事・練成部長

長 田 忍

普及誌のQ&Aコーナーに昔『失業は卒業』という回答を書きました。

内容は概略、ご主人がリストラに合い失業した奥様の相談に対して「失業とは、今の環境から得るべき魂の栄養を吸収し尽くし、その環境には魂の栄養素が枯渇している状態です。さらに魂を生長させるための豊富な栄養が新たな環境（仕事）に既に用意されていません。それは魂の飛躍的生長をするチャンスが巡ってきていることです。『失業という卒業』を、喜びをもって迎え、感謝で受け止めれば、一層素晴らしい人生へと飛躍されます」と、云うような内容でした。



そして、その様に素直に『失業を卒業』と受け取り感謝された結果、ご主人

は間もなく希望の再就職が叶った体験がありました。

人生におけるチェンジの時、変わる節目、誰しも少なからず訪れるものです。

新型コロナウイルスがパンデミックを引き起こし、吾が身にも直撃しました。

令和二年二月末に定年を迎え、丁度嘱託期間に入って「さあ再出発」と意気込んだ矢先の三月でした。感染防止のため練成会が中止という驚天動地の経験をし、その後約二年間生活は激変しました。

平成五年三月から約二十九年間練成会に携わり、生活の中心だった練成がなくなり、まるで猛スピードで走っていた車がカーブを切って曲がった瞬間、道が途切れ急に崖が現れ、転落したような錯覚に襲われました。

練成が当たり前の日常が、まさか生活の支柱が蒸発してしまうなど想像できない出来事でした。

練成部はその日から練成（次頁に続く）

会が中止でできなくなり、まさかの「失業状態」に陥ったのでした。

今から、明日から何をしたらよいのか、ただ呆然と立ち尽くし、立ち止まっていることは許されません、何かしなければならぬ。

昭和二十九年九月第一回神性開発練成会の献勞から宇治本山の開拓が始まりました。その伝統ある宇治練成会を開催・運営するという最大の使命を失って、それに代わる何ものかに意識を振り向け、集中しなければなりませんでした。

練成部員にとって練成会とは、「生き甲斐であり、悦びそのもの」です。

人生の道に迷い、苦悩と懊悩を抱え、暗く沈んだ表情で来た人々が「人間・神の子圓滿完全」の真理に触れた時のあの驚愕と歓喜。涙と共に父母へ感謝



できた時のすがすがしい心の底からの解放感と晴々とした笑顔

を。

そんな参加者の人生の悦びの時をお一人おひとり共有することができ、飲ひは、何ものにもかえがたい充実感を与えてくれました。

振り返れば昭和五十五年五月短期練成会を受講して、初めて「生長の家」のみ教えに触れ、研修生となり、同年十一月二十二日に職員とし採用され、以来四十二年の長きに亘り宇治別格本山に奉職させていただいたことは吾が人生の宝、最高の幸せでした。

また、大切な暖かい家庭を築くことができたのも、この本山と云う懐の広い所、人々、充実した時を与えていただいたからこそ叶ったものがありがたくて、ありがたくて、何度感謝の言葉を繰り返しても筆舌に尽くし得ません。生長の家のみ教えに、また宇治に出会えなかったとしたら、今頃どんな人生を歩んでいたことかと、想像することもできません。

私にとっての生長の家は、宇治をおいて他にはありませんでした。しかし「吾が生長の家は実に狭かったと今さらながらに気づかされました。

この二年間練成会に代わることを色々試みてはきました。新練成道場大掃除や Facebook の配信、「ご先祖と共に悦びの一日講話」、「大調和の神示」ペン字写経など等。しかし、依然としてコロナの終息までには至らず、練成会の再開の展望も未だ見出せない世界的状況です。

再雇用していただいたからには、今までお世話になった分もお返ししなくてはと決意し、全力で練成会に全身全霊をかける覚悟でいましたが、コロナ禍ではそれも叶わず気持ちは空回りするばかりで、悶々として不完全燃焼の状態が二年間も続き、練成部の責任者として職員の方さんにも責任を感じています。

このままでするとお役に立てず本山に在るだけではないけないと、この度一大決心を致しました。

この間、皆様から不肖わたくしを幾度となく慰留していただき、それにもお応えできずに申し訳ない次第です。

しかし、若い講師や職員の人達が着実に育っており、練成会再開の折には立派に指導・運営がなされていくとの

確信もあります。

この二月末日の嘱託満了を機に本山を卒業することをここに報告させていただきます。

練成会参加者の皆様、宝蔵会員の皆様、長い間大変お世話になりました、心より感謝申し上げます。

堀端総務始め、本山各部長、職員並

（随想）

お嫁さんが神様！

練成部

清水志郎

再拝

合掌ありがとうございます

先日、奈良に無煙炭化器での竹炭造りに家族で参加して来ました。「自然と共に伸びる運動」を推進する素晴らしい活動であり、二十名ほどの方が来られていました。そこではまず各々一言自己紹介をしてから始めることになり「宇治から来た清水です。後ろにいるのが「お嫁さん」と息子です。宜しくお願います。」と挨拶をしました。

その後、悦びいっぱい最高に充実した時間を過ごして帰ろうとしたとき、一緒に作業していた年配の男性が「あ

びに諸先輩方など多くの皆様にお世話になりました、深甚の感謝を申し上げます。

さらなる広い世界へと羽ばたき、これからは生長の家の一信徒として光明化運動発展の一助となりたいと念願しております。

「奥さんと息子さんだったんだね。お嫁さん」なんて言うから、娘さんとお孫さんかと思っていたよ！」と言い、笑いながら去って行きました。有難い一言です。その「お嫁さん」からも日頃「健康ちゃん（一歳半の長男）には、本当におじいちゃんみたいな甘さだね。」と、言われます。今こんな、毎日毎日最高に幸せな日々を過ごさせていただいています。

二年半前に結婚させて戴き、一番深く想うことは、如何に夫婦のムスビが大切であるかと云うことです。たまに



さで縛られ、また実際に驚くほどに仕事も人間関係も混乱します。

一家の中心は、神様であり、ご先祖さま・父母を貫く愛と理念であります。その愛と理念の結晶こそが、目の前に居る「お嫁さん」であり、御主人なのです。この絶対感謝の拝み合いを外しては何も始まらない。わが家も生活の上では、一番手のかかる小さな子供が中心のような形になりますが、真の中心は、常に「お嫁さん」とのムスビの内にあり、ここがどれだけ光輝くものとなるか、それがそのまま家族全体の輝きとなり、又すべての人・すべての生物・すべての鉱物を愛する根源的な活力になるのだと感じています。

谷口輝子先生のご著書『めざめゆく魂』のはしがきに於いて、谷口雅春先生が「彼女は私が浴衣一枚の着のみのまままで縄の帯をしめて、世界で一ばん

喧嘩をしまし
て不調和とな
り、そのまま
仕事に向うと
き、心は一日
中暗い重苦し

貧しい生活をするのが理想だと思っていた時、結婚してくれたのである。(中略)「人類光明化」という大それた運動を起こすというような第三者から見たら狂気の沙汰だと思えるような仕事を私をはじめても、反対するどころか、それこそ人間として生まれた生き甲斐であるといつて激励し協力してくれたのが彼女である。(中略)生長の家の人類

光明化運動の今日あるのは、まったくこの妻のお蔭であると自然に感謝の念で目がしらが熱くなるのを感じた。」と書かれております。この拝み合いの光の内に、永遠の生長の家の輝きがあるのですね。

この原稿を書きながら、今日はこの後、産土神社に安産祈願に行く予定です。「お嫁さん」のお腹に二人目の神の

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

F. H

(80代)〈女性〉

朝四時に飛び起きて、四時半出発新幹線に飛び乗り、ホッとしました。静岡を過ぎた頃、雪、雪：朝黎明の中の雪は、美しかったです。

色々ありましたが、すべて自分が蒔いた種と思い至り、情けないばかりでしたが、本日講師の方々の講話をお聴きしておりますうちに『聖光録』に書いてあった、繰り返し、繰り返し読

んだ一節を思い出しました。「すべて

善く見えるにせよ、悪く見えるにせよ、それは自分の魂の向上のためか、又は過去の業の消えていく姿であり、すべて自分の味方であり糧である」。その一文を過去の自分の業の消えていく姿なのだと思っておりますが、起こったことを暗い方からばかり見ていた過去の業が、今、形に表れて消えていく、浄まっていつている姿であったと教えられました。

この世界が神の国であるならば、起

子さんがおり、六月後半に生まれて来る予定です。これから、ますます感謝の想いを深め、拝み合いの光をもって、



永遠のご恩返しを歩んでいきたいと決意しています。

再拝

こることはみな素晴らしいと心から思えるように精進致します。

Y. S

(30代)〈女性〉

何年振りかで宇治に來れて、本日講話を拝聴させていただきました。本当に、本當に來てよかったですと心から満たされました。ありがとうございます。

コロナ禍で、ほぼ毎日暗いニュースが流れている時代で、時に、喜びに満たされるようなニュースや出来事もあり、嬉しく思うこともありませんが、やはり自分の心は暗い方向に引つ張られていく：何となく日々どんよりした気持ちで過ごすことが多かった私です。

「実相ととっても現象に引つ張られるし、「明るい心」と思ってもすぐ暗いほうに引き戻されてしまう…沼にはまっている状態でした。本日の講話を拝聴し、実相はあり続けていること、暗い心に支配されているように思っていた私も、本当は「光」で、その暗い方に引つ張られる心の習慣も、神想観、聖典拝読で変えられると思つと、これからの生活に自信が持ててきました。ついつい暗い心のままで、神想観をしていたので、これからは意思の力によって、明るい想念を積み重ねて行こうと決心しました。

自分を変える最良の機会に恵まれた本日でした。神様と繋いだ手を離さないよう、迷子にならないようにします。本日はありがとうございました。心より感謝申し上げます。

Z. R (40代〈女性〉)

今回令和三年十二月の最後の講話に参加させていただき、大変うれしく思っています。今日は沢山の講話を拝聴でき、浄心行をさせていただくこと



が出来て、本当に良かったと思っております。あらためて「人間は神の子であること」「罪はない」「自分を大肯定してやること」「私は実相円満完全」と心身で理解することが出来ました。

私は三十代に入ってから仕事や人間関係、結婚についてなどで悩みを抱き、それにより体調が悪くなったり、精神的にもイライラすることが過度にあるなど、心身ともに疲れ果て、どうしたらいいかと日々思い悩んでいました。

その時、母親が若い頃から信仰していて、生長の家のみ教えのすばらしさを日常生活の様々な場面で教えてくれたことに気づき、宇治の練成会に導かれました。練成会は本当に素晴らしく、それからは毎月休日には練成会に参加するようになりました。「人間は神の子である」と繰り返し教えていただき、自分自身をもっと肯定してやる

うと思つようになりました。

しかし、なかなか自分を変えることが出来ず、また不安な気持ちになったり、肯定と否定の繰り返しでした。

もっと真理を学びたいと思い、二ヶ月研修生もさせていただきました。

その後も仕事を続けながらも自己肯定、否定を繰り返していましたが、肯定できる方が多くなってきました。私は二ヶ月の研修生生活が宝物のような時間であったと改めて振り返ることが出来ます。真理のシャワーを浴び、神の子の自覚を深められた貴重な時間でした。

その後も色々あっても、自然と様々な場面で「私は神の子実相円満完全。神様有難うございます」と、気がつくときに出しているというようになりました。そのお陰で、念願の職業に就くことが出来、感謝の気持ちで生活できるようになりました。

私の神性を引き出してくださったのみ教えに感謝して参ります。有難うございました。

個人指導の礼状

K. W
(40代) (女性)

合掌 有難うございます。

二ヶ月程前、電話で個人指導していただいたものです。

母が家を片付けない…という内容です。ご指導を頂いてから数日後、喜びの報告をしたのでお聞きになっているかと思いますが……。

電話で個人指導をしていたいた時、最初に「あなたはお母さんの気持をわかっていますか？」と訊かれ、驚きました。何故私が指導されているのだろうと思っていました。

でもずっとお話を聴かせていただき、最後に「お母様はあなたのことを愛していますよ」と言ってくれました。その言葉を聞き、私は、涙が止まりませんでした。

母に謝らなければ……”という思いで、母に会いに行き、色々話が出て来ました。

母は宇治の生長の家に電話したこと

をととても喜んでいました。家の片付けばかり言っていたこと、泣きながら謝りました。母も泣いていました。

それ以降、母は片付けを始めました。今では実家に帰ると、どこかが必ずキレイになっています。私は、喜びと感謝を母に伝えることが出来ています。

でも片付けるということは、目に見えているだけのことです。ですからわたしは、無理しなくていいことや私が今回のことで、多くのことを学ぶことが出来た事の喜び、母が私のためにしてくれていたのだと感謝していることを母に伝えていきます。

母は「よく帰ってきてくれるからうれしい。ちょっとでも過ごしやすくなってほしいから……掃除も楽しい」と言ってくれます。母は本当に素晴らしい母です。そして、本当に心から私達子供を愛してくださっています。最近片付けだけでなく、料理も作って

くれます。妹と一緒に帰り、ご飯を食べ、昼寝をしてから帰るときもあります。

今はお正月の料理を作ることが楽しみだそうです。私が黒豆をお願いしたことがきっかけです。「あんたら(私と妹)が帰ってきたら忙しいわ」と言いながら、母は笑顔で台所に立っています。

このように素晴らしい道へ導いてくださり、本当に感謝でいっぱい입니다。有難うございました。



魂の無限生長の道・研修生の皆さんの喜びの体験文です。

宇治別格本山

研修生 体験感想文

M・N (60代)〈女性〉

この度は私を研修生として受け入れてくださったことに感謝申し上げます。

長女が八月に新型コロナウイルス感染症に感染してから四ヶ月経ちますが、その後遺症の為重い倦怠感、頭痛等の症状があり仕事を休職中でした。九月には合併症の腎盂炎で十日間の緊急入院も体験致しました。

母親である私は娘の介護に疲れ現象に振り回されて恐怖と心配から逃れることが出来ませんでした。そんな時救いを求めて宇治で研修生となることを強く希望いたしました。



三年前に次女が鬱気味となり五日間の練成会に二人で参加させていただき次女

は元気になったことを思い出しました。宇治に行けば大丈夫、宇治にどうしても行きたいと思えました。長女の世話を主人と次女に頼んで研修生をさせていただきました。

この研修生活で私の神の子の自覚が確信へと変わりました。宇治から帰ってみると長女はかなり良くなっています。十二月一日から時短ですがオンラインで仕事に復帰出来ました。宇治から帰って三日目です。やはり宇治に行けば大丈夫、思った通りになりました。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

私は生長の家に入信してから二十七年。先祖供養、神想観を行っていて教えはなんとなく分かっているつもりでした。しかし実は全く分かっていなかったことに気付くことが出来ました。長女が病気となり、彼女の世話をする中で長女に『甘露の法雨』を読むように強要してしまいました。日頃から嫌

がっていたのに、本人が行を行じれば早く治るのにと一人で躍起になり決めつけていました。

主人から、家族に生長の家を押し付けるなと怒られ、口論となることしばしばありました。この研修を通して問題は自分にあった、私が自分の心を変えさえすればいいのだということが分かりました。家族は一つの命でその環境も私の心が投影していたのです。

自分の心が変われば世界が変わる。病気や問題等全て今の環境は過去の自分の思ったことです。自分で気が付いてなくても潜在意識が影響してしまうのです。私も新型コロナウイルスの感染を恐怖し、東京で一人暮らしの娘を心配していました。

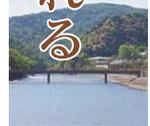
自分の心を変えるには様々な秘訣がありました。それを徹底的に訓練してください。それが宇治の研修です。

今悩んでいる方、宇治の講師に個人指導をお願いしてみてください。信じて講師の方々の言う通りにすればきつと救われることと思います。

最後に、私も地元で周囲の人を照らす光となるように邁進してまいります。

◎宇治別格本山の歴史 (9)

自然災害物故者慰霊塔建立される



平成二十三年三月十一日に発生した東日本震災を契機として、自然災害による物故者を悼み、神・自然・人間が大調和する世界実現の誓いを新たにすするため、建立されたのが「自然災害物故者慰霊塔」でありました。

平成二十四年五月生長の家最高首脳者会議にて、宇治別格本山の境内地に自然石を使用した「自然災害物故者慰霊塔」の建立が決定され、現在の慰霊塔が建立されました。



慰霊塔に用いられる自然石は、兵庫県生野町で産出される「生野丹波石」が選ばれました。この石は、安山岩の一種で耐久性に優れ、庭石や墓石、建築材料にも広く使われています。

慰霊塔の高さは四メートル五十七センチ、幅一メートル三十センチ、厚さ八十七センチ、重さは何と十五トン、その岩肌はなめらかで、そのお姿は自然が生み出した観世音菩薩のようにも見え、沢山の御霊をお祀りするにふさわしい雰囲気のある石であります。そこに総裁谷口雅宣先生のお筆による「自然災害物故者慰霊塔」の文字が刻まれ、魂が宿りました。

慰霊塔の基壇部の白御影石(北木石)は、耐久性に優れ、靖国神社の大鳥居、明治神宮の神宮橋などにも使用されているものが選ばれました。焼香台は黒御影石で、移動も可能な作りになっています。

こうして入念な石選びによって建立された慰霊塔は、平成二十五年八月十七日から十九日にかけて開催された第五十八回孟蘭盆供養大祭二日目の「自然災害物故者追悼慰霊祭」に於いて、除幕式が行われ、初めて全容が開示されました。

その後平成三十年には、慰霊塔の脇に平成二十三年以降の自然災害によって亡くなられた聖使命会員のお名前を記載した表示板が設置されました。たて百十七センチ、よこ二百七十七センチのステンレス製の見るからにすずやかで美しい表示板がこの年の第六十三回の孟蘭盆供養大祭にお目見えしました。日本語と英語でお名前が表記されておりますが、この方達だけではなく、すべての自然災害の尊い犠牲となられた方達の慰霊とご供養が建立の目的です。

生長の家総裁谷口雅宣先生は、東日本大震災が起こった一週間後の三月十七日、いち早く『自然と人間の調和を観ずる祈り』を公発表くださり、大きな災害が起こったほんとうの原因と意義、尊い犠牲になられた方たちへの慰霊、これからの私達の生き方について

て、祈りとしてお教えくださいました。

「個人の損得を中心にすえるとき、人間は自然との大調和を見失うのである。」人間が自然を敵視すれば、その迷い心の反映として、自然の側から敵として扱われるような事態が現れてくるのである。人間が山を削り、森を切り倒し、川を堰き止め、湖や梅を埋め立てて、人間だけの繁栄を画策してもそれは神の御心ではない。・・・実相でないものは、必ず破壊と滅亡を迎える時が来る」

「大地震は神の怒りにあらず、観世音菩薩の教えである。・・・我々の本性である観世音菩薩は、『人間よもつと謙虚であれ』『自然の一部であることを見せよ』『自然と一体の自己を回復せよ』と教えているのである。現象の不幸を表した人々は、そんな尊い役割を果たしている。これらの人々こそ我々の良心であり、神の子の本性の代弁者であり、観世音菩薩である。」
 (「自然と人間の大調和を観ずる祈り」より)

昨年十二月十一日には、新型コロナウイルス感染症の犠牲者を供養するた

めに「世界規模感染症物故者追悼慰霊祭」が執り行われました。新型コロナウイルス感染症が、自然破壊と共通する人間中心主義による自然破壊、自然浸食が原因であることから自然災害による物故者と同様に世界規模感染症で



〈神癒祈願のお礼状〉

主人の怪我が順調に回復

I. N (女性)

主人が年末に自宅二階の階段からバランスを崩して転落、救急搬送されました。意識はありましたが、頭蓋骨のひびと左肩骨折で、頭の方は様子を見ることになり、肩は手術が必要との診断でした。「入院は二週間から一か月、手術後次第では更に延びる」と医師から言われました。

亡くなられた方々の御霊を供養することになったのです。

毎月十一日には「自然災害物故者慰霊月次祭」が午前十時から行われ、毎日日本山員、研修生によって聖経・讃歌の読誦が行われております。

それでも命が助かったことだけでも良かったと感謝しました。一刻も早い回復を願い、すぐに神癒祈願をお願いして毎日何度も聖経『甘露の法雨』の読誦と神想観を行いました。

そして入院から六日目に本人から電話があり「退院が明後日に決まった」という連絡でした。話を聞くと、頭蓋骨の回復は順調で日に日に良くなり、肩も順調に回復しているので手術の必要はなく、通院で様子を見ることになったということでした。転落した時の惨状からは想像もできないほどの驚異の回復力と、一週間という短期間での退院には驚きと感謝でいっぱいです。退院から二週間後に肩のレントゲンを撮りましたが、経過は順調で変形もなく、快方に向かっているとのことでした。現象世界は色々なことが起こります

が、神様とご先祖様の強いお護りに感謝するばかりです。皆様のお祈りと深いご愛念に心から感謝申し上げます。

娘の検査結果が良好でした

T. K (女性)

娘の子宮ポリープ手術の件で神癒祈願をお願いしました。検査結果、抽出したポリープは良性で問題はないと判明しました。祈願を出させていただき、私達家族、娘、伴侶みんな安心をし、喜んでおります。生長の家の御教えを行い、聖使命、先祖供養等させていたただいた御蔭と思っております。今後も家族、知人にこの素晴らしい御教えを伝えていきたいと思っております。ありがとうございます。

神様に生かされていくんだよ に感謝

W. J (女性)

この度、神癒祈願が終わった人型を

返送致します。長い間、いろいろな事がありましたが、お陰様で全てが調いまして。十五人(孫

七人)の家族が全員揃い、賑やかなお正月を迎えました。十四日間の帰省も終わり、何事もなく帰りました。問題を解決する前に問題は私の心の中にある事がはつきりとわかりました。昨年十一月も娘の事で神癒祈願をお願いしましたが、ポストに入れた次の日には解決致しました。私が反省し全てを感謝に変えて、娘夫婦をただただ神として実相礼拝しておりましたら、娘はフト気付いたそうです。「離婚はしません。心配かけてごめんなさい」と連絡したそうです。

これからも、私はただただ娘たち夫婦を神として礼拝し、感謝の祈りを捧げて参ります。「ただただ」です。何かあっても大丈夫です。全ては神様のみ心のままに生かされています。今の今を一点に集中して明るく生きる。自分も神の子である事を忘れずに祈り、た



だただ入龍宮幽斎殿にての神想観を精進してまいります。感謝の気持ちで「写経」も書かせていただきます。神様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

資格試験に合格

T. M (女性)

四年前、新卒で就職した会社を退職した二男が実家に戻ってきました。気持ちが大変な時期には短期練成会を受けたり、盂蘭盆供養大祭の奉仕にも参加しましたが、仕事は見つからず、一昨年の十月に家を出してしまいました。夫と探しましたが見つからず、聖経を読み、神様に全托して祈りました。八か月後、無事、帰宅してくれました。コロナ禍の中、警備会社の契約社員となり一年経ちました。厳しい環境でも頑張る働き、資格を取ろうという意欲を持てるようになりました。

一男の試験合格を願ひ、神癒祈願を申し込みました。お蔭で「交通誘導警備業務二級」の試験に合格することが

できました。神想観がなかなか出来なかつた私ですが、今は毎日私達家族を導き給えと祈っております。これからも生長の家の御教えを学び、日々感謝の生活をしていきたいと思ひます。本当にありがとうございます。



〈写経のお礼状〉

孫の高校受験合格

O. I (女性)

国立大学付属中学三年の孫が受験を迎え、内部進学希望でした。息子の話では難関で、かなり頑張らないと進学できないとのことでしたが、無事、国立大学付属高校に合格することができました。のんびりとした孫なので嫁が「初めてあの子が泣きました」と喜んでおります。

私は家族の健康を願い、既に写経を奉納させていただいております。合格は孫の頑張りが一番ですが、写経の功德もあつたと思ひます。報恩感謝の気持ちでこれからも写経をさせていただきます。生長の家の信仰は義母が二十五歳から百一歳で昇天するまで毎日先祖供養をしておりました。信仰を継続し続けることの大切さを学ばせていただきました。これからも生長の家の信仰を続けて参ります。

子ども二人の就職が

決まりました

R. S (女性)

息子が体調を崩して、仕事もなかなか続けられずいたので、写経祈願をお願いしました。一項目と全項目を奉納してから息子の体調が良くなり、今年一月から息子に適した正社員の仕事が決まり、元気に働いております。娘も仕事を辞めてから、ふさわしい仕事がなかなか見つからず、働き先を探していたら、一番良いところに決ま

りました。写経の功德に感謝しております。

神癒の社 入龍宮幽斎殿 神癒祈願

「クレジットカード」利用のご案内

神癒祈願の申し込み、送金が宇治別格本山ホームページまたは下記のQRコードからできます。

「クレジットカード」または「ペイパル」でお支払いの場合、神癒人型を当日または、翌日に発送します。

※但し、1件の申し込みにつき奉納金1,000円以上です。

詳しくは、祈願部神癒祈願課までお問い合わせください。

電話 0774-21-2157 FAX 0774-21-2167



◆ オンラインによる対面個人指導（無料）を行います ◆

※お申込みにより日程を調整致します。

時間：9：20～12：00・13：00～16：00

担当講師：清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補・岡田浩二本部講師補
田野靖彦本部講師補

（担当講師のご希望はお受けできません）

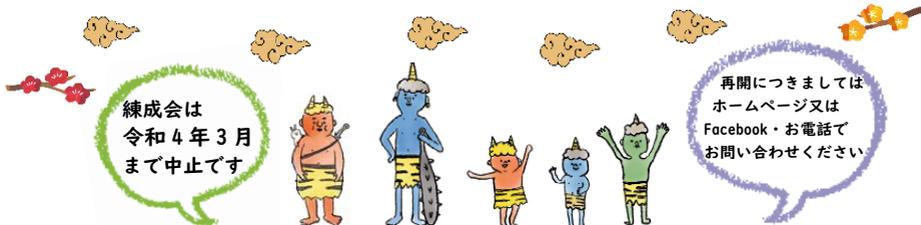
条件：zoom かメッセージャーをご自分で繋げられる方

お申込み方法：facebook [生長の家宇治別格本山ページ](#)、または、
メール rensei@uji-sni.jp へ、メッセージでお名前（ふりがな）・電話番号・ご希望日時をご送信ください。
担当講師等、こちらより返信いたします。

宝蔵神社先祖・流産児供養祭

=== 2月16日（水）午後3時30分～ライブ配信 ===

記載いただいた霊牌は、奉納金1柱100円以上を添え現金書留にてお送りいただくと、宝蔵神社霊殿に奉安されます（13日必着）。供養祭はFacebook「生長の家宇治別格本山」ページにて、ライブ配信致しますので是非ご覧ください。



練成会は
令和4年3月
まで中止です

再開につきましては
ホームページ又は
Facebook・お電話で
お問い合わせください



2・3月宇治別格本山で行われる行事



- 10日（木）11：00～ 第48回末一稻荷神社 初午祭（ライブ配信）※無参列
- 11日（金）10：00～ 自然災害物故者慰霊塔月次祭※無参列
- 13日（日）10：00～ 宝蔵神社月次祭（ライブ配信）※無参列
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭※無参列
- 16日（水）15：30～ 宝蔵神社先祖・流産児供養祭（ライブ配信）※無参列
- 19日（土）10：00～ 末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭※無参列

※上記御祭へのご参列はご遠慮ください※



宗教法人 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/



ISO 14001 認証取得

